

地方凡例録

ワ 3
470
9

九

和装本

ワ 3
470
9



門 登
470
卷 9

地方九例錄卷之九

目錄

一 普濟方之率

人量扶持方并材木出方定法一率

去取石方共切人量定法一率

渡人量定法一率

杭舟人量定法一率

橋石渡取兩入量定法一率

竹木根伐材定并諸地材定法一率

舟楫船乘采運行定法一率

法物寸尺目方定法一率



土石貫目積之事

材木三色挽渡代を本挽材舊合坪を以て

以材木石柁橋より舊目海見合

未見もた

地蔵坪詰より

目海見慢着月

國の善法

此の善法

災濃小地方回半

地方凡例録卷之九

一

堤川徐用水道橋並に修補する由を以て等因

のり高司を以て時疏に九河汪汝漢桃淮潤溝漁堤塘ヲ備

利と水成活一八年おきて三所を以て修補する由を以て等因

中國食のり高司を以て時疏に九河汪汝漢桃淮潤溝漁堤塘ヲ備

一自分水と治のり高司を以て時疏に九河汪汝漢桃淮潤溝漁堤塘ヲ備

法惟の家よりふまへて池の田園のり高司を以て時疏に九河汪汝漢桃淮潤溝漁堤塘ヲ備

宜水質のり高司を以て時疏に九河汪汝漢桃淮潤溝漁堤塘ヲ備

月や余司宜日時雨降も水より騰る修行国邑周視原野脩

利堤防道達溝讀田通道路母有隙塞する由を以て等因

とのり高司を以て時疏に九河汪汝漢桃淮潤溝漁堤塘ヲ備

海の地流ありては他より水浅きなる地ありては
ハ敷業に於ては又代流増へ居る未だ明きてハ下
居る亭宅に建ハ居るに止る事ありては右ハ地を
よハ柳利會するありて是ハ天下に宝ありてハ
若ク情に似しむるに利を以テ川除用事ハ此
其ハ地を以テ事也道橋と修補するハ是ハ天下法
師事ありてハ此ハ地を以テ事也

一 堤防除用事道橋未善事
秋にわたりて橋の破損事と合ふる村々を併せて
出射入人等より河内味員海是より川除の事大
少の石川砂川泥川等川中へ質狭川敷に建出撥し

海河川の山海津河内と考ふる事
又前記の事川内は集ふる事同
石川河内事水列川内
は敷造りて河内事上列と利根河内事
河内事水列河内事は是ハ遠ハ河内事
東へ川内事水列河内事は是ハ遠ハ河内事
川内事水列河内事は是ハ遠ハ河内事
角杭と事河内事上列と利根河内事
を杭と事河内事上列と利根河内事
河内事水列河内事は是ハ遠ハ河内事
河内事水列河内事は是ハ遠ハ河内事

一色に於て水と浮る事也上方園東より城後甲位御
中國西の流の流は正に御しては昔流切らと云ひし杭
山と竹束のはれも川より色も多し杭出はる自出評を竹の
けともりり又小川の杭出に多し屏風山と云て杭ともまらと云了
之を位とてお柵と云水除の杭も出り立竹の家園根杭
之角例と之竹お杭と下柵極り南之竹の根杭は入
けりともりり是は小川杭と云水と云とも水南の流川は
田也古河六雅用又は江戸申川流も立竹の古河と云て
切更と云て三の指お流の中より目と云て敷の杭と云て家園
ともりりは是は海に收除の用より上川より是とも也は除
中は改り石と云て改の石門流くあるは不用を海とて

大改と云とも和と云に改の石と云用川除用はるも有と
唱へられともは正に御しては昔流切らと云ひし杭
昔流は多く立竹と云ともりり川に水と云の切ら利りり
昔流おれとも金と云川に流るるは古河の切未及中流
切ら柵と云は鉄倉柵と昔略したる杭も也右門村と
鉄倉おれとも半柵と云昔流の石と云又因川出れと云は月
流とも昔流おれともは是は古河の古河と云切湯水と云は是
流とも法用水流と云は古河の古河と云は是は古河の
遠は古河の古河と云は是は古河の古河と云は是は古河の
昔流は古河の古河と云は是は古河の古河と云は是は古河の
ホリは古河の古河と云は是は古河の古河と云は是は古河の

掛りありし事長きし右の書籍に記す略

一 堤築立并法之書

新観の先づ馬路の^{河津}古を極古堤ありははり
を別砂堤の古別を右堤の古を古堤とすまより
古堤を別を砂利を別を右堤の古を古堤とすまより
多るる古大板南村の古の積枝を古堤とす
河津の古大板南村の古の積枝を古堤とす
を別を古大板南村の古の積枝を古堤とす
準す新堤の古大板南村の古の積枝を古堤とす
形とありて堤の古大板南村の古の積枝を古堤とす
堤の古大板南村の古の積枝を古堤とす

法ありし事長きし右の書籍に記す略
古堤の古大板南村の古の積枝を古堤とす
準す新堤の古大板南村の古の積枝を古堤とす
形とありて堤の古大板南村の古の積枝を古堤とす
堤の古大板南村の古の積枝を古堤とす
古堤の古大板南村の古の積枝を古堤とす
準す新堤の古大板南村の古の積枝を古堤とす
形とありて堤の古大板南村の古の積枝を古堤とす
堤の古大板南村の古の積枝を古堤とす

流す所は法寺とてその村を無名とせども其の流す所は
とて其の形も亦一切ありて内河に水勢が流す中河と
いふ所も保つて流す者との形も亦中河の形も亦
水と海にちがひ切つて陸に押切るとも亦
切つて余程人言ふ所も亦中河の形も亦
ヶ程に難儀とて水原とて流す所も亦中河の形も亦
足とは別な所切つてありて中河の形も亦
流す所も切つてありて中河の形も亦
折らぬ所も亦中河の形も亦
長つた所も亦中河の形も亦
流す所も亦中河の形も亦

樹の形も亦中河の形も亦
古河の形も亦中河の形も亦
ちよりの形も亦中河の形も亦
あつた所も亦中河の形も亦
さへ見まほし肝要也と流す所も亦中河の形も亦
高つた所も亦中河の形も亦
地形も亦中河の形も亦
中河の形も亦中河の形も亦
わつた所も亦中河の形も亦

一
堀坪屏風也とて其の形も亦中河の形も亦
鬼怒川は中河の形も亦中河の形も亦

切し口も川海傍にありて埋りしは地し不し築家園
も埋り切し口も川海園に方り築行横さるるに
は五重に上下山草成いたけき来るは押海といふ
地は法を押し緑茶を竹の横さるるに
してさるる行地と土海行といふは水中の向はけり
と持地といふは土海行を成さるる水中に左右
に築行といふは竹をすうる地と又竹地といふ
右は海行といふは神も竹も押したといふ地
海に埋りし川中地といふはさるる地と地と
干しと持地といふは地築といふは地と
と成り方々の土なるといふは射分なる地

一 高し一 高し 高し 水中埋り地とて干しと出るとは
羽は兼羽といふは附といふは屏風といふは埋り
仰しといふは埋りといふは埋りといふは埋り
まじりたる也

一 埋り地といふは埋りといふは埋りといふは埋り
母といふは埋りといふは埋りといふは埋り
とて埋りといふは埋りといふは埋りといふは埋り
とて埋りといふは埋りといふは埋りといふは埋り
とて埋りといふは埋りといふは埋りといふは埋り
とて埋りといふは埋りといふは埋りといふは埋り

一 石埋りといふは埋りといふは埋りといふは埋り
の埋りといふは埋りといふは埋りといふは埋り

石表と並行して見合はるる様にして古表の
うしろを以て石を積りて角の石
とて千石積りたるは別りたる石積り
る様にして根柢は水に流るる事也

一 石積りて中割りたる又石上にて石を積りて
其の根柢は法に依りて中割りたる中水は
均等に積りて是等も石の積りたる也

一 塔と並行して古塔は法に依りて石を積り
たるは表板と云塔の内方外方板と云事也
石積りたるは別りたる様にして中割り
たる中割りたる事也

石の積りたるは別りたる様にして石を積り
たるは表板と云塔の内方外方板と云事也
石積りたるは別りたる様にして中割り
たる中割りたる事也

一 古河津水に古村に人々を以て石を積り
たるは別りたる様にして中割りたる中割り
たる事也

續桿は横切る言ひ人長沙橋のりも二指のりも川巾切し
長準一は又山河枝川土切管平と紐保坊大指を言ひ
きりくは桿のりも二指を言ひも二指は日本元形せに
方下遊根形も二指を言ひも二指は日本元形せに
連上も大や一繩を横切し切根も二指を言ひも二指は日本元形せに
りも二指は日本元形せに
斤桿は二指も二指を言ひも二指は日本元形せに
ろ桿の裏表を二指を言ひも二指は日本元形せに
横切る位も二指を言ひも二指は日本元形せに
りも二指は日本元形せに
きりくは桿のりも二指を言ひも二指は日本元形せに

表は桿のりも二指を言ひも二指は日本元形せに
枝のりも二指を言ひも二指は日本元形せに

一 菱牛

菱牛は二指も二指を言ひも二指は日本元形せに
甲列も二指を言ひも二指は日本元形せに
乙列も二指を言ひも二指は日本元形せに
丙列も二指を言ひも二指は日本元形せに
丁列も二指を言ひも二指は日本元形せに
戊列も二指を言ひも二指は日本元形せに
己列も二指を言ひも二指は日本元形せに
庚列も二指を言ひも二指は日本元形せに
辛列も二指を言ひも二指は日本元形せに
壬列も二指を言ひも二指は日本元形せに
癸列も二指を言ひも二指は日本元形せに

あふ杉と一極木を二一筋の本を長六丈六寸五分の杉并
本より梁木三と結び印しし杉行しき敷格井市を流長山石
干後き尺七寸を組本並してまゝ也

一 尺本半

半尺甲別ら用い降木六尺の長俣山石を大首をきかへ
桐半尺半一本善本一本用坊高仕建柱く水別所
も益あり大川で杉用之仕方の枕長四尺五分の
用流石本を下して合本木尺に注ぎ二本長六丈六寸五分
尺本並一と註わし組合とと枕行ら流石一本長六丈六寸五分
尺本並一と註わし枕長四尺五分の長俣山石を大首をきかへ
組合せ合本木とと枕行ら流石一本長六丈六寸五分
尺本並一と註わし枕長四尺五分の長俣山石を大首をきかへ

枕横行並本福縁行並本合本本一方、流石也

一 尺本垣

是は右同の西極山石用水坊同枕並本水別枕本用立下戸
より流石本並、長六丈六寸五分の枕本並一尺本
流石自並一と註わし枕長四尺五分の長俣山石を大首を
きかへ流石用水坊同枕並本水別枕本用立下戸より流石本
並一と註わし枕長四尺五分の長俣山石を大首をきかへ
流石自並一と註わし枕長四尺五分の長俣山石を大首をきかへ
流石用水坊同枕並本水別枕本用立下戸より流石本並一と
註わし枕長四尺五分の長俣山石を大首をきかへ

一 朋本半

是は右流石用水坊同枕並本水別枕本用立下戸より流石本
並一と註わし枕長四尺五分の長俣山石を大首をきかへ
流石用水坊同枕並本水別枕本用立下戸より流石本並一と
註わし枕長四尺五分の長俣山石を大首をきかへ流石用水
坊同枕並本水別枕本用立下戸より流石本並一と註わし
枕長四尺五分の長俣山石を大首をきかへ流石用水坊同
枕並本水別枕本用立下戸より流石本並一と註わし枕長
四尺五分の長俣山石を大首をきかへ

如長川、根子、庄、八、川、下、有、之、不、少、根、舟、ヲ、捨、キ、水、割、小、も
若、因、も、諸、キ、併、込、門、大、河、の、始、て、若、因、の、世、羽、と、兼、羽、果
と、羽、の、方、筋、也、も、水、割、キ、取、の、後、羽、と、あ、り、八、を、羽、と
之、高、も、根、柁、ノ、若、因、一、肝、要、水、由、活、地、有、八、羽、の、と、一、七、余、ハ
取、柁、と、若、因、と、一、八、出、門、の、御、川、土、地、有、と、も、一、道、右、等、
所、御、小、羽、八、折、也、之、柁、は、水、割、の、土、川、を、根、入、一、九、條、方、リ、也
之、川、深、水、割、は、仕、所、を、右、柁、と、一、八、の、也、所、川、の、水、と、根、
若、因、一、柁、完、六、長、七、尺、短、小、柁、と、一、三、寸、本、根、入、御、人
程、亦、大、葉、竹、の、根、を、相、但、違、一、舟、と、捨、キ、と、一、八、尺、も、御、人
あり、水、あり、一、葉、一、仕、方、利、水、地、有、亦、若、因、と、舟、八、長、四、尺、と、
小、柁、一、舟、と、御、人、短、唐、竹、也、割、也、一、七、捨、一、八、川、の、御、水、柁、

舟、の、才、切、也、も、一、八、也

根、柁、並、柁

根、柁、も、並、柁、も、一、方、も、若、因、地、切、也、若、因、と、一、と、一、と、
若、の、方、付、く、也、一、八、水、由、活、地、有、二、一、と、一、八、也、亦、一、葉、と、一、

小、柁、も、根、舟、捨、と、大、柁、も、舟、新、捨、也、林、を、捨、キ、葉、と、一、
亦、一、或、ハ、根、柁、内、の、方、之、竹、ハ、捨、キ、も、一、と、一、八、竹、捨、キ、柁、と、一、
之、本、新、木、建、大、根、を、柁、葉、唐、竹、と、一、上、下、二、一、と、一、
一、と、一、竹、と、一、之、竹、捨、柁、也、一、七、若、因、は、右、も、一、竹、
と、若、因、竹、也、一、八、又、大、河、大、柁、亦、御、一、八、也、一、竹、也、

七、八、舟、羽、也

七、八、舟、羽、也、一、八、又、大、河、大、柁、亦、御、一、八、也、一、竹、也、

一

と堪前石積の仕方の事あり長より堪前は八寸ありとも
此方も以ては仕方の八寸を計り長より二人幅より厚六寸
能くをたんと入遠地にして大輪の枝杭乘れ長より末口
二寸ありてより内へ挿しおれ丸を七角に積むべしあり
地形と平均を計り半平に積む積むに石垣といひ
裏見八面より七寸相砂ら七寸を挿し積むに表見より積
むに方割石積裏側よりいへり表見より方割石積水より
りも表見より表見より石積よりいへり表見より石積裏埋
り半より築きたり石積よりいへり半より石積よりいへり
積りは仕方の石平を計り之挿し七角八寸より切廻りより波
ありて石積よりいへり長より表見より七寸より大輪より送り

よりわき浪除杭もおれ切角の石積よりいへり半より波より表見
木長より八寸送り入用より容易よりいへり半より波よりいへり
場よりいへり半よりいへり半よりいへり半よりいへり半よりいへり
除り積りよりあり利水よりいへり半よりいへり半よりいへり半よりいへり
枝垣よりいへり半よりいへり半よりいへり半よりいへり半よりいへり
積り送り水よりいへり半よりいへり半よりいへり半よりいへり半よりいへり
いへり半よりいへり半よりいへり半よりいへり半よりいへり半よりいへり
八極繰より水よりいへり半よりいへり半よりいへり半よりいへり半よりいへり
水よりいへり半よりいへり半よりいへり半よりいへり半よりいへり半よりいへり
目よりいへり半よりいへり半よりいへり半よりいへり半よりいへり半よりいへり
目よりいへり半よりいへり半よりいへり半よりいへり半よりいへり半よりいへり
目よりいへり半よりいへり半よりいへり半よりいへり半よりいへり半よりいへり

晩も石炭食糧——粒も汚物酒も食糧を以て救も
斯如年々古造り——砂入——と云ふ中西節田地井
戸穀物——節——も是れ水利水に於て畑水と稱す水利之中
西内千流後他を指し極小の谷水と汲上り可しと
中是らも水車より水車と稱して日後と抽扱
のふとしてその持運の水はけきして車——と云ふ
世は畑水抽扱入り田——水足極小地別流川水と水車
少く地内別地抽扱ありあるを水車と稱す其を以て
少く水利も甚だ中々舟久の事候らるは然り別り中國
浪人と云ふ節入り用と云ふ車より抽扱材と云ふ節——水車
ホ有——との山村にて教諭と——田毎にけけらるる水を

抽扱入り田も様々桶と汲上りて運ぶあり善く田方及
浅水車抽扱舟百姓者等々——形と云ふ水車おしえの汲水に
あがり又々聖年右浪人との世話を抽扱材種は各此種
悉く石多く地と法利と申村に初水舟と云ふ節——抽扱——小
車と云ふと云ふ成り——ありて実入りけり——村方は竹と
抽扱——と云ふ白根の如種も西内千流の地と云ふ抽扱あり是
又甚だしく地と云ふ農業は古来より水と云ふ所は是れと云ふ
今他内千流と云ふと云ふ水と云ふ所は是れと云ふと云ふ
と云ふ用水不抽扱ありたるは千と云ふを以て此れ平年流
以て甲別り或は忠臣其勅令中田と稱するに云ふすなり
牛——と云ふ節——と云ふと云ふ牛八個入り用少く水は僅かあり

女子供とも思ひいそひの耕牛は六匹ありぬ人耕牛ハ耕
 牛中ら思は不入寺百姓御のまゝ其の上方毎ハ田細ノ料馬
 と利ノ車牛ノ牛中ら思はずは甲御ノ一系牛はく一皮せ
 支那山村ノ下ノ傍右長友込にき方毎ハ牛を是自己ノ入
 用ノ人買易せに毎ハ内御ノ一とのえ立む村ノ路ノ牛
 とも方々毎ハ田と耕を百姓共支那代友ノ付々ノ牛
 二匹ノ一高如程思ふ又阿ノ有由ノ後ノ種ハ中ノ思ふ
 五匹田細とあり田細ハ牛布ノ少耕ノりまに
 人ハ其掛牛ハ隔々方ノ引りたりとあり田細ハ牛一匹
 中ノ思ひ方隔々方ノ付々程とあり田角とあり
 千とありましく銀ハ五ノ百ニ互耕ノ三年ハ内思ふ

あつて六名料又甲別と山極けり津崎もきし其農業の障
 ハ其思ふとも出山ノ業ニ新木附とありも方々ありぬ
 五名ハ其ハ被きを引に七ノ牛ハ利方ハ出中ノ一ニ
 必免ハ山村ノ頼存民共も持方ハ右の牛とまよ上方ノ
 通々ハ其ハ思ふあり車牛ハ出中ノ一各ハ其指位別ノ
 右思ハ賣牛ハ其ハ右種ノ損失農民自ノ其ハ其思ふ
 七ハ其利ハ一編とあり其思ふ事多ク勿論上ノ中国利
 印ハ其田細ノ料と牛と利ハ其思ふハ其利ハ其思ふ
 甲別ハ其思ふハ其思ふハ其思ふハ其思ふハ其思ふ
 此方上方中其利方あり甲別國東ら利方ありや種ノ
 の障と五年ハお止とあり又其思ふ良物と其思ふ

甲別も此の利益ありしは右代官世治らむ所の
 種とも先材に比せざる勿論かや甲別も此の地
 おり然れども一に官給の地も亦或る百姓不
 同のあり代官に付賦課し知之法に代官海内あた
 此の地ならに信方もは代官同の地を以て感長能く
 一とまて羽州を治むは是れ利害法にて古昔より本
 城のあり地を以て治むるの麻を種せしる布も亦
 弱く一とと列名を以て治むるの銀も亦馬具
 亦入る所し是れ古昔より及し補骨惜麻は似く麻も亦
弱く似く弱く
 其來種より法に治むるも知之法に治むるの地也

昔々利益あり一は一年より二年の同一年來りしは水
 土に依るものありし利益を以て押さるるも水も月にしてに有
 橋水の地とは相穀の地といふは古今歴然なるに似
 極しとも利益の地と云ふは一は羽州を以て治むる
 編み高良地と云ふは一は是を以て治むる一は甲別を以て
 のあり来りし地なり葉は春の利本は秋の成る来りし地中
 右代官の地なり是れ治むるは皮も利代官を以て治むる
 利も治むるは治むるは一は教へて一は百姓も教へて是れ
 治むる地と云ふは一は治むるは治むるは治むるは治むるは
 紙に書きたる地なり治むる地は紙に書きたる地なり治むる
 かの買ひとり中程と云ふは一は治むるは治むるは治むる

日一にまゝの居居に懸架板を右の場にて建木とは込杉木を
本あ例に帯入元よりせむ下掛木も居居に帯入元よりせ
る也之を留の杭杉木相本と扱留杭とす

掛流井

貞元

是を用流井治る所にて一六横を織りて用水と爲す甲言
外一の趣あり質と揃率一板本を並し之本を並しして
川中流木を二に所し板を連ね流木を板毎に杉木と爲す
質と爲す道長建板を川中と爲す流木板と爲す横板
帯入り本板と爲す杉木と爲すよ之本を並し二本を並
中一息一引く枕を並し流木板と爲す流木板と爲す上流木
質と爲す川中流木と爲す流木板と爲す質と扱質と扱流木と建木

下梁(帯入)板横板を並し例に板を並し内縁木質と爲す
あ例に立例板横板を並し立例板質と爲す枕を並しとす
圓板も質と爲す右長も並し枕を並し留の梁も建木建板
の梁も杉木の梁も流木と爲す又よ流木板と爲す流木
板の中扱くは板の縁を川中一板本を並し建木板と爲す
帯入りて川中一板を掛流井と爲す建板を扱く板を以て上
梁と川掛板と爲す流木板を並しとああ例に巾板を
内縁木と扱けり外道具あり

同様

是を質と爲す縁を横し質と扱けり也用水井治る所にて
掛く二板一板にて水とけり川中流木を並し川中流木板を扱内

由る振りて落葉直ち極ありと知る方未後入一丁横
切組方水あり事其坂に極ありては這方切組切極に
大小意道具のまゝ方極ありては這方葉切切也少後
練ら切組く八保方折削極ありて即ち和古小は五とて
づ一赤古とて山本方方直儀方しゆありては古も中き人
足りとも有は訓く人足あり書人足りとも江戸人方直儀
師に於て極極を去りたる人足中もは直儀く保方直
儀と書く人足古くく八山本は極く古く葉直儀極
板固極くちるを古くは方古く活儀の方直儀く古く古
地古龍穴古山本く極く古く極く居るも直儀く入
古くく保方直儀く

一 新編地誌

新編地誌
新編は古歌である方山名ある古水活水極く場所何方
地と葉直儀水と濁り極く丈丈は古く八日代水濁り古
訓は古方古事古あり山あり場地と地は古く八日代
古く八水清水古く古く古井地古物古く古本古く古
古実地古池古く古く古く古く古く古く古く古く古く
古水の古く古く古く古く古く古く古く古く古く古く
古く古く古く古く古く古く古く古く古く古く古く古く
古く古く古く古く古く古く古く古く古く古く古く古く
古く古く古く古く古く古く古く古く古く古く古く古く
古く古く古く古く古く古く古く古く古く古く古く古く

一 七橋

枹長崎ハ千川ニ流ルル身ハ枹古枹のはりたあやもも
 はりあやも 枹長速々石河あり根無あや宮場表
 も者大枹一枹と表は六枹以言極末十字宮結丹妙
 利古依り何儀もなる根結丹七上ノ字も入也して春
 きこハ心匠ノむすま成能と身宮入り浪市水脈はりのよ
 小枹一枹ハ大枹表也 枹樞ハ枹中表は四方中もまん四角ノ一
 長七尺長ハ木ハ中ハ長七尺ノ枹ハあり也
 行こともよのせおひて枹長も根切ら長き枹うけを
 雖歩枹ハ皆さあ也又流川ハ流潁田ハ中才也程程ハ
 下也又ハ枹と名木ノ下に枹又枹と建のし者也 二四一
 枹ハけー一四本建表自伝ハ二本建表自伝も二本建表自
 ちのそお水の良材オ枹長表川ハ枹長ノ川と表除とて

大木の枹杭と扱とすま一お母杭枹本枹面一枹ハ船
 と枹本流一枹杭ふも根者ハはて下一河枹も枹中廣
 きハ四本とすまも也枹ハ七本とすまも一枹ハ一枹と
 目録見まるとりハ併古枹也何と録列ハ二本枹枹ハ録
 及乃呂教長き枹ハ河枹一枹ハ石成三継ハ一枹も一
 枹長ハ一枹種結丹言ハ結ハ一枹結ハ一枹切組中
 枹長まも一枹種結ハ一方帯ハ一方と大ハ一てえのハ一枹
 長中一枹ハ一枹種結ハ一枹種結ハ一枹種結ハ一枹種結ハ
 枹長也枹長方直付多ハ用ハ帯結ハ一枹河枹の表ハあ
 あく梁ノと入達ハ一枹種結ハ一枹種結ハ一枹種結ハ一枹種結
 枹長ハ枹長ハ一枹種結ハ一枹種結ハ一枹種結ハ一枹種結

ありぬともうき〜杉と「虫草」も栗ら八角拾の形
物と梅葉も杉と它を彫りて大葉あけは山末
杉節の事あり七格は少な信らも山末の麓に
梅とありありはく保鳥〜杉のはる由る
善ふとの也志心の方〜計水梅の可誠七の梅
葉末ありありはく保鳥〜杉のはる由る
杉節の事あり七格は少な信らも山末の麓に
梅とありありはく保鳥〜杉のはる由る
善ふとの也志心の方〜計水梅の可誠七の梅
葉末ありありはく保鳥〜杉のはる由る

目や木根の通る通る中〜杉の根も栗ら八角拾の形
物と梅葉も杉と它を彫りて大葉あけは山末
杉節の事あり七格は少な信らも山末の麓に
梅とありありはく保鳥〜杉のはる由る
善ふとの也志心の方〜計水梅の可誠七の梅
葉末ありありはく保鳥〜杉のはる由る
杉節の事あり七格は少な信らも山末の麓に
梅とありありはく保鳥〜杉のはる由る
善ふとの也志心の方〜計水梅の可誠七の梅
葉末ありありはく保鳥〜杉のはる由る

おのちまた大まな木と云渡る速き成木は流中を三人
余を奪ひて内を、七人の法も又山内からあはれ稽を石
おのちまた、梓の方及石の出入切、五指、七石、流杭、建杭
の鼻、波若、持まらしき、お入、橋、わが、川、例、押、掛、橋、打
の、細、場、り、り、場、り、り、例、の、免、量、り、川、申、地、橋、り、例、と
り、り、車、り、り、例、り、り、河、場、り、り、例、り、り、河、り、り、河、り、
梓、り、り、り、例、り、り、河、り、り、例、り、り、河、り、り、河、り、
橋、り、り、り、例、り、り、河、り、り、例、り、り、河、り、り、河、り、
板、橋

板橋一、大、長、後、言、程、付、橋、り、り、例、り、り、河、り、り、河、り、
流、り、り、り、例、り、り、河、り、り、例、り、り、河、り、り、河、り、

このりりり、橋、り、り、例、り、り、河、り、り、河、り、り、河、り、
橋、り、り、例、り、り、河、り、り、例、り、り、河、り、り、河、り、
牛、馬、木、河、治、り、り、例、り、り、河、り、り、例、り、り、河、り、
り、り、り、例、り、り、河、り、り、例、り、り、河、り、り、河、り、
五、指、橋、り、り、例、り、り、河、り、り、例、り、り、河、り、り、河、り、
少、り、り、例、り、り、河、り、り、例、り、り、河、り、り、河、り、
あ、り、り、例、り、り、河、り、り、例、り、り、河、り、り、河、り、
ハ、不、橋、り、り、例、り、り、河、り、り、例、り、り、河、り、り、河、り、
は、ま、り、り、例、り、り、河、り、り、例、り、り、河、り、り、河、り、
新、規、の、は、り、り、例、り、り、河、り、り、例、り、り、河、り、り、河、り、
口、料、私、所、を、付、り、り、例、り、り、河、り、り、例、り、り、河、り、

若石刻本と城又とあり石刻とは刻本と云うは同一
ものなり石刻は刻本の様にして刻本と云うは同一
かたまりとして刻本と云うは刻本の様にして刻本と云うは同一
なるにあり刻本と云うは刻本の様にして刻本と云うは同一
を以ての本と云うは刻本と云うは刻本の様にして刻本と云うは同一
刻本と云うは刻本の様にして刻本と云うは刻本の様にして刻本と云うは同一
なり元が刻本と云うは刻本の様にして刻本と云うは刻本の様にして刻本と云うは同一
本位は刻本の様にして刻本と云うは刻本の様にして刻本と云うは同一
の刻本と云うは刻本の様にして刻本と云うは刻本の様にして刻本と云うは同一
漫より刻本の刻本と云うは刻本の様にして刻本と云うは刻本の様にして刻本と云うは同一

自信は付川申廣く杉板申は刻本の様にして刻本と云うは同一
酒板様は刻本の様にして刻本と云うは刻本の様にして刻本と云うは同一
神位申押本と云うは刻本の様にして刻本と云うは刻本の様にして刻本と云うは同一
若川本も刻本の様にして刻本と云うは刻本の様にして刻本と云うは同一
本は刻本の様にして刻本と云うは刻本の様にして刻本と云うは同一
又には刻本の様にして刻本と云うは刻本の様にして刻本と云うは同一
板板の刻本の様にして刻本と云うは刻本の様にして刻本と云うは同一
刻本と云うは刻本の様にして刻本と云うは刻本の様にして刻本と云うは同一
余は刻本の様にして刻本と云うは刻本の様にして刻本と云うは同一
と云うは刻本の様にして刻本と云うは刻本の様にして刻本と云うは同一
ゆへに刻本の様にして刻本と云うは刻本の様にして刻本と云うは同一

東門より河村と仰し上りて米を乞ふに金銀米を乞ふと
樹を録せり川の方面に米を乞ふと指し付て米乞ふと
干場所迄米乞ふと仰るに米乞ふと仰るに米乞ふと仰るに
川の方へ渡りて有る杉杭梁木を乞ふと仰るに杉杭を
時破折ありと仰るに米乞ふと仰るに米乞ふと仰るに
干場所へ米乞ふと仰るに有る道へ米乞ふと仰るに
二仕を乞ふと仰るに米乞ふと仰るに米乞ふと仰るに
米乞ふと仰るに米乞ふと仰るに米乞ふと仰るに
法事毎に米乞ふと仰るに米乞ふと仰るに米乞ふと仰るに
一 米乞ふと仰るに米乞ふと仰るに米乞ふと仰るに
干余に米乞ふと仰るに米乞ふと仰るに米乞ふと仰るに

昔清の自石百人百姓は米乞ふと仰るに米乞ふと仰るに
米乞ふと仰るに米乞ふと仰るに米乞ふと仰るに
米乞ふと仰るに米乞ふと仰るに米乞ふと仰るに
米乞ふと仰るに米乞ふと仰るに米乞ふと仰るに
米乞ふと仰るに米乞ふと仰るに米乞ふと仰るに
米乞ふと仰るに米乞ふと仰るに米乞ふと仰るに
米乞ふと仰るに米乞ふと仰るに米乞ふと仰るに
米乞ふと仰るに米乞ふと仰るに米乞ふと仰るに
米乞ふと仰るに米乞ふと仰るに米乞ふと仰るに
米乞ふと仰るに米乞ふと仰るに米乞ふと仰るに

一村百石
一田
右百石百人外あり
右米乞ふと仰るに米乞ふと仰るに米乞ふと仰るに
米乞ふと仰るに米乞ふと仰るに米乞ふと仰るに
米乞ふと仰るに米乞ふと仰るに米乞ふと仰るに
米乞ふと仰るに米乞ふと仰るに米乞ふと仰るに
米乞ふと仰るに米乞ふと仰るに米乞ふと仰るに
米乞ふと仰るに米乞ふと仰るに米乞ふと仰るに

積りしお増進のりもきさかしく... 三十一人

一 石見人受立

石見評... 石見人

一町 七人

二町 七人

三町 七人

四町 七人

五町 七人

六町 七人

七町 七人

八町 七人

但長き人... 割合右同敷

一 若取人受立

若取評... 若取人

一町 七人

二町 七人

三町 七人

四町 七人

五町 七人

六町 七人

内... 三十一人

二町半 拾人
 四町 拾三人
 五町 拾五人
 十町 拾七人

但吉伴昔而少人... 町敷... 拾...
 是方昔... 拾...
 順...

一 七 燈 渡 人 足 定 法

吉伴舟巾	源	拾人
巾	源	拾人
巾	源	拾三人
巾	源	拾五人
巾	源	拾七人
巾	源	拾九人
巾	源	拾一人
巾	源	拾三人
巾	源	拾五人
巾	源	拾七人
巾	源	拾九人
巾	源	拾一人
巾	源	拾三人
巾	源	拾五人

但七拾... 拾... 人...

七種場隔り（一）と近町新の庄八と坪寺町七村人足人
 二丁

一 石砂利渡人足定法

壹坪舟巾	二丁八人	源	三丁八人
巾	二丁八人	源	三丁八人
巾	二丁八人	源	三丁八人
巾	二丁八人	源	三丁八人
巾	二丁八人	源	三丁八人
巾	二丁八人	源	三丁八人
巾	二丁八人	源	三丁八人
巾	二丁八人	源	三丁八人
巾	二丁八人	源	三丁八人
巾	二丁八人	源	三丁八人

但石砂利持隔り右同の庄八と坪寺町七村人足人
 一
 横

一 福井渡人足定法

壹坪舟源寺と下五人
 源 二丁八人
 源 三丁八人
 但場前と唐杖と橋巾と但寺持隔り右同の庄八と坪寺町七村人足人
 人足と坪寺町七村人足と若原と八丁と場後時と
 人足と場勿論と八丁と源寺と八丁と場寺持隔り

概て舟子に依りては積るべき

一 杭舟人足定法

長七尺八寸	末白二寸	舟人三指	<small>但近地未だ杭船場者 二十寸申す八年申 らつては</small>
長九尺八寸	末白同以	舟人十指	但右角の寸法也
長一丈	末白同以	舟人四本	但右角の寸法也
長一丈二尺	末白同以	舟人五本	
長一丈四尺	末白同以	舟人六本	
長一丈六尺	末白同以	舟人七本	
長一丈八尺	末白同以	舟人八本	
長二丈	末白同以	舟人九本	
長二丈二尺	末白同以	舟人十本	
長二丈四尺	末白同以	舟人十一本	
長二丈六尺	末白同以	舟人十二本	
長二丈八尺	末白同以	舟人十三本	
長三丈	末白同以	舟人十四本	
長三丈二尺	末白同以	舟人十五本	
長三丈四尺	末白同以	舟人十六本	
長三丈六尺	末白同以	舟人十七本	
長三丈八尺	末白同以	舟人十八本	
長四丈	末白同以	舟人十九本	
長四丈二尺	末白同以	舟人二十本	

但場前近場も古和の船と又磯利場未だ他へ堅和舟人
足定法にて増減する舟人の末白守以舟人三寸より八寸
て計舟杭舟人足定法ハ昔より海軍にも古和舟人あり
場前指の若し堅和舟人末の磯利地末より舟人末白守以
杭舟人にて八寸より六寸計舟人表也積るべし

一 指角杭舟人足定法

長一丈	五寸角	根八尺八寸	舟人三本
長一丈二尺	六寸角	根一丈七尺	舟人四本
長一丈四尺	七寸角	根一丈七尺	舟人五本
長一丈六尺	八寸角	根一丈九尺	舟人六本

但人足掛の寸法長短も右掛の別を準て積るべき也

柴和右同の

一 枘丸杭 長切人定定法

長 二尺八寸 末口四寸

根 八寸 長 二尺八寸

長 二尺七寸 末口三寸

根 七寸 長 二尺七寸

長 二尺六寸 末口三寸

根 七寸 長 二尺六寸

長 二尺五寸 末口三寸

根 七寸 長 二尺五寸

長 二尺四寸 末口三寸

根 七寸 長 二尺四寸

但右同の

一 枘 一或人定定法

長 二尺八寸 中 二尺八寸

枘 半寸 長 二尺八寸

長 二尺七寸 中 二尺七寸

同 以 長 二尺七寸

長 二尺六寸 中 二尺六寸

同 以 長 二尺六寸

長 二尺五寸 中 二尺五寸

同 以 長 二尺五寸

但右枘 末口三寸 附人定定法 長二尺五寸 末口三寸 附人定定法 長二尺四寸 末口三寸 附人定定法 長二尺三寸 末口三寸 附人定定法 長二尺二寸 末口三寸 附人定定法 長二尺一寸 末口三寸 附人定定法 長二尺 末口三寸 附人定定法 長一尺九寸 末口三寸 附人定定法 長一尺八寸 末口三寸 附人定定法 長一尺七寸 末口三寸 附人定定法 長一尺六寸 末口三寸 附人定定法 長一尺五寸 末口三寸 附人定定法 長一尺四寸 末口三寸 附人定定法 長一尺三寸 末口三寸 附人定定法 長一尺二寸 末口三寸 附人定定法 長一尺一寸 末口三寸 附人定定法 長一尺 末口三寸 附人定定法

一 枘木根切人定定法

末口二寸

長 二尺八寸 末口 二寸

同 三寸

同 長 二尺七寸 末口 三寸

同 四寸

同 長 二尺六寸 末口 四寸

同 五寸

同 長 二尺五寸 末口 五寸

同 六寸

同 長 二尺四寸 末口 六寸

同 七寸

同 長 二尺三寸 末口 七寸

長 同 八寸

同 九寸

同 七寸

同 五寸

同 三寸

同 二寸

同 一寸

同 五分

同 三分

同 二分

同 四寸五分

同 四寸

同 三寸五分

同 三寸

同 二寸五分

同 二寸

同 一寸五分

同 一寸

同 五分

同 三分

同 四寸

同 三寸

同 二寸

同 一寸

同 五分

長 同 九寸

同 七寸

同 五寸

同 三寸

同 二寸

同 一寸

同 九寸

同 七寸

同 五寸

同 三寸

同 二寸

同 一寸

同 五分

同 三分

同 二分

同 一寸

同 五分

同 寺人守

束口 守

同 守

同 守

同 守

同 守

同 七寸

同 八寸

同 九寸

同 寺人

同 寺人守

寺人 守 拾 本 寺 成

同 九本

同 五本

同 四本

同 三本

同 一本

同 一本

同 一本

同 一本

同 寺人守

同 寺人守

同 寺人守

同 寺人守

同 寺人守

束口

同 守

同 守

同 守

同 七寸

同 寺人守

同 寺人守

同 寺人守

同 寺人守

同 九本

寺人 七本 寺 成

同 五本

同 一本

同 一本

同 一本

同八寸
同九寸
同壹尺
同壹尺二寸
同壹尺三寸
同壹尺四寸
同壹尺五寸
壹尺二寸
同壹寸

同壹尺
同壹尺二寸
同壹尺三寸
同壹尺四寸
同壹尺五寸
同壹尺六寸
同壹尺七寸
同壹尺八寸
同壹尺九寸
同壹尺

同五寸
同六寸
同七寸
同八寸
長三寸五分同九寸
同壹尺
同壹尺二寸
同壹尺三寸
同壹尺四寸
同壹尺五寸

同四寸
同壹尺二寸
同壹尺三寸
同壹尺四寸
同壹尺五寸
同壹尺六寸
同壹尺七寸
同壹尺八寸
同壹尺九寸
同八寸

未白四寸

同 五寸

同 六寸

同 七寸

同 八寸

長
同 九寸

同 壹尺

同 壹尺二寸

同 壹尺三寸

同 壹尺四寸

同 壹尺五寸

未白四寸

同 五寸

同 六寸

同 七寸

同 八寸

長
同 九寸

同 壹尺

同 壹尺二寸

同 壹尺三寸

壹尺肆寸五分

同 五寸

同 六寸

同 七寸

同 八寸

同 九寸

同 壹尺

同 壹尺二寸

同 壹尺三寸

同 壹尺四寸

同 七寸

壹尺肆寸五分

同 壹尺六寸

同 壹尺七寸

同 壹尺八寸

同 壹尺九寸

同 二尺

同 二尺一寸

同 二尺二寸

同 七寸

于六寸五分... 見まゝ... 七九... 角...

て掛合元... 杖... 杖...

一 杖本持運人定法

一 杖本持運人定法

末二寸

二本

一人持

同 三寸

二本

同 一人持

同 四寸

六本

五人

同 五寸

二本

四人

同 六寸

五本

五人

同 七寸

二本

八人

同 八寸

一本

三人

同 九寸

四本

十二人

同 十寸

五本

九人

同 十一寸

同

十一人

同 十二寸

五本

六人

同 十三寸

同

七人

同 十四寸

五本

十人

同 十五寸

五本

十人

末三寸

五本

十一人持

同 四寸

同 四

八人

同 五寸

同 四

三人

長
同 壹人 守
同 壹人 守
同 壹人 守
同 九寸
同 八寸
同 七寸
同 六寸
同 五寸
同 四寸
壹 三寸

同
同
同
同
同
壹本
貳本
同
壹本
同
貳本

貳拾人
拾七人
拾五人
拾貳人
拾人
八人
拾三人
五人
四人
五人
三人 拾

長
同 九寸
同 八寸
同 七寸
同 六寸
同 五寸
同 四寸
同 三寸
同 二寸

同
同
同
同
同
同
同
同
同
同

十八人
十四人
十二人
十人
十一人
八人
七人
六人
五人
四人

長
同壹人

同九寸

同壹人寸

同壹人寸

同壹人寸

同壹人寸

同壹人寸

未
同壹人寸

同壹人寸

同壹人寸

同七寸

同八寸

同九寸

同壹人

同壹人寸

同壹人寸

同壹人寸

同壹人寸

同壹人寸

未
同壹人寸

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

拾壹人

拾七人

拾八人

拾七人

拾三人

拾九人

拾七人

拾七人

拾七人

拾七人

拾七人

拾七人

拾七人

拾七人

拾七人

拾七人

拾七人

拾七人

拾七人

拾七人

同	六寸	同	拾八人
同	六寸	同	拾四人
同	七寸	同	拾二人
同	八寸	同	拾七人
同	九寸	同	拾五人
同	一丈	同	拾三人
同	一丈一寸	同	拾二人
同	一丈二寸	同	拾一人
同	一丈三寸	同	拾人
同	一丈四寸	同	拾人
同	一丈五寸	同	拾人
同	一丈六寸	同	拾人
同	一丈七寸	同	拾人
同	一丈八寸	同	拾人
同	一丈九寸	同	拾人
同	二丈	同	拾人

但持運人一日往還の定数は道法定書に依りて
 持運人一本松木一丈二寸一尺一寸の一本持運也古く持運
 雜木一本は松木一本より重き一本は松木一本より持運
 別令に持運一尺一寸の一本持運は松木一本より持運
 一丈一尺一寸の一本持運は松木一本より持運
 一丈一尺一寸の一本持運は松木一本より持運

古く持運人一本松木一丈七合一尺一寸の一本持運也
 由緒は松木一本の一本持運也一本持運は松木一本より持運
 村方より持運は松木一本より持運一本持運は松木一本より持運
 一本持運は松木一本より持運一本持運は松木一本より持運
 一本持運は松木一本より持運一本持運は松木一本より持運

同四寸	右同	淺目拾五	同五寸五分
同五寸	右同	同拾五	同五寸五分
同六寸	右同	同拾五	同五寸五分
同七寸	右同	同拾五	同四寸五分
同八寸	右同	同拾五	同四寸五分
同九寸	右同	同拾五	同四寸五分
同壹尺	右同	同拾五	同四寸五分

但極柄（きく）下打也淺目ヲ格（か）ハ長一寸（いち）ハ下打也
 淺目ハ格（か）下打也淺目（あ）ハ格也

平落打

長四寸

中腰（ちゆう）上（かみ）中（な）下（しも）

淺目拾五

同五寸	右同	同拾五
同六寸	同中 <small>（ちゆう）</small> 上 <small>（かみ）</small> 下 <small>（しも）</small>	同拾五
同七寸	右同	同拾五

但平落打（へいらく）ハ格（か）下打也形亦（か）下打也ハ格（か）下打也
 同（お）下打也ハ格（か）下打也ハ格（か）下打也

家打

長五寸五分	淺目拾五	長四寸	淺目拾五
長六寸	同拾五	長五寸	同拾五
長七寸	同拾五	長六寸	同拾五

但平（へい）下打也ハ格（か）下打也ハ格（か）下打也ハ格（か）下打也

長子板厚三信と云く横の寸

正縁
手先縁

長半

斤九寸五分
七寸五分

法同縁九寸

長五寸

右同り

同縁九寸

長三寸

斤九寸五分
右サシ五分

同縁七寸

長七寸

斤九寸五分
巾二寸五分

同縁七寸

長八寸

右同り

同縁九寸

長九寸

斤九寸五分
巾二寸五分

同縁九寸

長五寸

斤九寸五分
巾二寸五分

同縁九寸

但手邊縁ハ斤九寸五分表裏と云く法同正縁と云く法同正縁
同縁九寸五分長一丈一尺一寸五分横六尺長一丈一尺一寸五分横六尺

檜高欄と云木ノ柱巻

長五尺

巾二寸五分

法同平

法同二寸七分

長五尺五分

巾二寸五分

法同平

同二寸七分

長三尺

巾二寸

法同平

同七寸五分

男板ノ地盤

長五尺

巾二寸五分

法同十一

法同二寸七分

長五尺五分

巾二寸五分

法同十一

同二寸七分

長五尺

巾二寸五分

法同十一

同二寸七分

神板ノ地盤

長五尺

巾二寸五分

法同六

法同二寸七分

長五尺五分

巾二寸五分

法同八

同二寸七分

長三寸半 中半

法定十

同三百餘分

地積法

長三寸半 中半

法定八

法同百餘分

長三寸半 中半

法定十

同百餘分

長三寸半 中半

法定十二

同四百餘分

長以法行

長三寸半 中半

法定十

同七百餘分

長八寸 中半

法定十

同四百餘分

長六寸 中半

法定十

同四百餘分

但指男有神以法中板寸半寸法也

小法行

長六寸 中半

法定十

法同二百

長三寸 中半

法定十

同四百七十

但指男有神以法中板寸半寸法也

法中寸半寸

法中法也

長三寸半 中半

法定十

法同二百餘分

長三寸半 中半

法定十

法同二百餘分

長三寸半 中半

法定十

法同二百餘分

但指男有神以法中板寸半寸法也

法中寸

本邑法也

内法守四方鴨中三寸 注元十二

滑目石

内法守四方鴨中三寸 注元十二

滑目石

右法也取法目積より寸四方の面押目積より
何れも長幅厚抄合七積り也

一 七石貫目積

七寸人の面 積目自注

砂目 積目自注

石目 積目自注

水目 七寸の貫目注 但積目自注より五寸貫目積

栗目 七寸の貫目注

但七石水目も七寸の貫目注より五寸貫目積より五寸貫目積

七寸の貫目注より五寸貫目積より五寸貫目積

若石積目も七寸の貫目注より五寸貫目積より五寸貫目積

並せ積目も七寸の貫目注より五寸貫目積より五寸貫目積

一 材木尺の寸法

材木尺の寸法は長幅厚抄合七積り也
あり尺の寸法も中厚尺を合長一尺を合一尺の法十二で除て
ハ行中厚尺の厚尺を合長一尺の法十二で除て
寸法十二で除て
十二で除てハ元の寸法の寸法十二で除て
寸法十二で除て

一 通し材木積目注

但長幅厚抄合七積り也

右通し材木積目注は長幅厚抄合七積り也

一 地河坪法ノ法

長五尺ノ 左側より入る

此石を合口より入る

唐行橋の本目廻りより入る

長五尺ノ 左側より入る

唐行橋の本目廻りより入る

長五尺ノ 左側より入る

此石を合口より入る

唐行橋の本目廻りより入る

但此行巾より入る

多人は木室より入る

谷川より入る

右側法石積ノ法ノ法ノ 目録にて 丹法七九ノより 長五尺

此一三橋より除くハ 年々除くハ 五尺ノ年々也 且目録より入るハ 二尺
より入るハ 五尺ノ年々也 且目録より入るハ 二尺
より入るハ 五尺ノ年々也 且目録より入るハ 二尺

一 地河坪法ノ法ノ法ノ 目録にて 丹法七九ノより 長五尺

此一三橋より除くハ 年々除くハ 五尺ノ年々也 且目録より入るハ 二尺
より入るハ 五尺ノ年々也 且目録より入るハ 二尺
より入るハ 五尺ノ年々也 且目録より入るハ 二尺

長五尺ノ 左側より入る

長五尺ノ 左側より入る

長五尺ノ 左側より入る

長五尺ノ 左側より入る

長五尺ノ 左側より入る

長五尺ノ 左側より入る

長五尺ノ 左側より入る

但長より増えたる法を以て除くは向ふ也

一 公儀直書信定式目海見性名出月並春書信用水の事
 十月段以降十月段の足書目海見性名出月並春書信用水の事
 あり一紙を年一由書信名出月並春書信用水の事
 公儀直書信定式目海見性名出月並春書信用水の事
 あり一紙を年一由書信名出月並春書信用水の事
 九月段以降十月段の足書目海見性名出月並春書信用水の事
 一 國及別書信古事名 津守下地除地寺社願之家門跡之
 順地名出除くは法あり一を年一右より一國及別書信
 除くは法あり一右書信名出月並春書信用水の事

一 國及別書信古事名

一 國及別書信古事名 津守下地除地寺社願之家門跡之
 順地名出除くは法あり一を年一右より一國及別書信
 除くは法あり一右書信名出月並春書信用水の事

一 村書信名 村書信名
 一 村書信名 村書信名

私儀出令

右格あり

公儀出令

右格あり

小出令

右の書信令出令 右の書信令出令 右の書信令出令
 右の書信令出令 右の書信令出令 右の書信令出令
 右の書信令出令 右の書信令出令 右の書信令出令

只此方より一級合三方あり自論より一七村より一落
多き方よりあり落の松成誠と申す村の松成と申す
此松成は一年一前より由り自論より一七村より一落
と云ふは人申すは信じて合と合を合と申すは
古の御と合の御出候は前より信じて合と合を合と申す
匠と申すは合の御と合の御と申すは合と合を合と申す
あり合の御と合の御と申すは合と合を合と申すは
合の御と合の御と申すは合と合を合と申すは
合の御と合の御と申すは合と合を合と申すは
合の御と合の御と申すは合と合を合と申すは

但し信じて合の御と合の御と申すは合と合を合と申すは

官より多く難知法儀方より多き方石の御と合の御と申すは

一 奥濃尾山松成地方より地は人より

と後杖打切末より松成郡代より信じて合の御と合を合と申すは
及び松成郡代より松成郡代より信じて合の御と合を合と申すは
おと松成郡代より松成郡代より信じて合の御と合を合と申すは
り松成郡代より松成郡代より信じて合の御と合を合と申すは
改より松成郡代より松成郡代より信じて合の御と合を合と申すは
右松成郡代より松成郡代より信じて合の御と合を合と申すは
川より松成郡代より松成郡代より信じて合の御と合を合と申すは
おと松成郡代より松成郡代より信じて合の御と合を合と申すは

目録見五九時ありてハ高堂法去用水川徐善信格亦性也
外法了の物ホリ調一々ハ目録見ハ勿論也一書ハ善信
位直切らる一々ハ善信格を以てハありハ千毎切らるハ
能く尋ぬる一

地方正例録卷九

